

議員提出第9号

障がい者の命と尊厳を守り障害者施設の安全確保を求める意見書

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記意見書を別紙のとおり提出する。

平成28年9月26日

提出者 吉川市議会議員 小林 昭子

賛成者 吉川市議会議員 濱田 美弥

〃 五十嵐惠千子

〃 遠藤 義法

吉川市議会議長 互 金次郎 様

提案理由 口頭

## 障がい者の命と尊厳を守り障害者施設の安全確保を求める意見書

2011年8月わが国では改正障がい者基本法が策定され、「障がいのあるなしには関わらず、基本的人権が尊重される」と明記されました。2013年には障害者差別解消法が成立。改正障害者雇用促進法もこの4月から施行。2014年、障がい者権利条約が批准され2月には国内に障がい者権利条約が発効されました。障がい者権利条約は障がい児・者も障がいの無い人と同じように、当たり前な生活が出来る社会の実現を求めるものです。そして、現在、最も社会的に弱い立場にある障がい児・者の暮らしを改善する事を通じて、全ての人に人権を保障していくことにあります。あらゆる国内の施策が障がい者権利条約の視点をとおしてその水準にかなっていないかどうか自他ともに問われている時であり、障害の有無によって分け隔てられることのない社会を目指して多くの人取り組みを進めています。

しかし、このような中、平成28年7月26日未明、相模原市の県立津久井やまゆり園において、死者19名を含む46名の方が元施設職員に殺傷されるという、大変痛ましい事件が発生しました。容疑者は、障害のある人の命や尊厳を否定する供述をしているとも伝えられています。障がい者権利条約と当時者の願いに真っ向から挑戦するものであり、障がい者の方達の暮らしのよりどころとなっている施設に於いて、無抵抗の多くの方々の命を奪った残虐で卑劣な行為は断じて許されるものではありません。

よって、国に於かれましては、このような悲惨な事件が二度と繰り返されることのないよう以下について強く要望いたします。

1. 障がい者の命と尊厳を守る施策の更なる充実を図ること。
2. 障がい者の方の暮らしのよりどころとなっている障害者施設の安全の確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月26日

埼玉県吉川市議会

提出先

内閣総理大臣  
厚生労働大臣